

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102195		
法人名	特定非営利活動法人グループホームしいのみ		
事業所名	グループホームしいのみ		
所在地	松山市緑町1-7-15 (電話) 089-932-7681		
管理者	川井 洋子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年6月6日	評価確定日	平成20年8月20日

【情報提供票より】 (平成20年5月15日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成13年7月19日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	7 人	常勤	7人, 非常勤 0人, 常勤換算 7.0人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年5月15日現在)			
利用者人数	6 名	男性 2 名	女性 4 名
要介護1	1 名	要介護2	0 名
要介護3	1 名	要介護4	1 名
要介護5	3 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81 歳	最低 67 歳	最高 92 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>事業所内でデイサービスやショートステイを受け入れておられる。又、理美容・通院時の同行や、図書館に本を借りに出かけられたり、コーラス教室へ通う方の送迎もされている。センター方式の書式を活用し、ご本人と相談しながら介護計画を作成されている。「ご本人が何を望んでおられるか」を考えながら職員で話し合っておられる。</p> <p>食事のメニューは、利用者の希望を聞き取り、考えておられる。利用者と職員が協力して食事の準備、後片付けをされている様子がうかがえた。職員は、必要な時のみ介助することを心がけておられた。</p> <p>居酒屋やカラオケに出かけられたり、あやとりや折り紙をされる方もいる。又、ペットの犬と遊ぶことを楽しみにされている方もおられる。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所では、この一年、地域との関係作りに積極的に取り組まれた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての職員で自己評価に取り組み、職員は、「ご家族の来訪時、ご本人と過ごす時間を作る」ことや「毎食後の口腔ケアの重要性」「利用者が不自由なく生活できるような環境作り」に気付かれた点があったと話されていた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議時、参加いただいた地域の代表者の方から地域行事のことを教えていただき、地域と交流するきっかけとなっていた。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートや家族ノート等を作り、ご家族の要望を聞き取れるよう働きかけておられる。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者と職員で公園や集会所の掃除を続けておられる。神社の神事へも積極的に参加されており、地域の方達が声をかけてくださることも年々多くなっている。地域の方を対象に、公民館で介護予防勉強会を実施された。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームしいのみ

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

川井 洋子

評価完了日

平成20年5月15日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の方達との交流を重要なものと考え、ご利用者個々の生活を上げていける取組が出来た理念をつくりあげよう心がけている。		職員全員でご利用者さんの行動指針を作り、より身近に理念を共有し実現できるよう取り組む予定である。
			(外部評価)		
			事業所では、「ゴソゴソの自由」を理念に掲げ、地域の中でも利用者個々の暮らしが広がるよう、交流等に取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を掲示し職員全員で理念を共有し、まず理念を忘れないことから実践にという心構えで取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			新人職員には、はじめに理念等、事業所の目指すことを説明され、職員間で共有してケアを行えるよう取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族には文章や口頭で説明し、地域の人々には日々の会話の中や運営推進会議の場で説明、理解を求めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員一同隣近所の人たちへは積極的に挨拶をしコミュニケーションを取り、敷居の低いグループホームになる様努めている。		・回覧板を利用者さんと一緒に配る。近くの美容院に行く。運営推進会議の案内を一緒に持って行く。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事、活動には積極的に参加し地元の人々と交流するよう努めている。 (外部評価) 利用者と職員で公園や集会所の掃除を続けておられる。神社の神事へも積極的に参加されており、地域の方達が声をかけてくださることも年々多くなっている。地域の方を対象に、公民館で介護予防勉強会を実施された。		公園や神社の清掃活動にも参加している。神事への参加（大杉神社） 今後さらに、日常的なご近所つきあいができるよう、関係を深めていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 民生委員さんを通じて地域の独居老人宅の把握、24時間SOSの場でありたい旨、協力体制にあることを告げてもらっている。		不定期ではあるが公民館を借りて地区の方々に介護予防勉強会を行っている。今後も継続していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員全員、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解した上で、職員全員で内容を検討し改善する項目があれば直ちに対応している。 (外部評価) すべての職員で自己評価に取り組み、職員は、「ご家族の来訪時、ご本人と過ごす時間を作る」ことや「毎食後の口腔ケアの重要性」「利用者が不自由なく生活できるような環境作り」に気付かれた点があったと話されていた。事業所では、この一年、地域との関係作りに積極的に取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では評価への取り組み、状況等について 報告や話し合いを行い、そこでの意見を参考にしサー ビス向上に生かしている。		契約書や同意書などに書かれている内容について他者 の意見をもらって参考にしている。
			(外部評価)		
			運営推進会議時、参加いただいた地域の代表者の方 から地域行事のことを教えていただき、地域と交流する きっかけとなっていた。		現在、会議開催の時間帯のこともあり、ご家族に参加 いただくことがむづかしいようである。さらに、サー ビスの向上に向けて話し合いを行うためにも、いろい ろな方から意見をいただけるような工夫を重ねていか れることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			地域包括支援センターの方や市社会福祉協議会の担当 者の方がグループホームを見学に来られたりケアプラ ン会議等でも行き来している。		ケアプラン研究会へも参加してる。
			(外部評価)		
			地域のケアプラン会議に参加し、ケアの事例を発表す る予定となっている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			今年はまだ勉強会を開催していないが積極的に学ぶ機 会をもち研修会にも参加し今後必要とされればそれら を活用できるよう支援したい。		市の窓口へ相談へ行ったことはあるが、人手が足りな いという事や説明してもらえる機会がなかった。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			利用者の小さな変化にも気付いた事があれば職員間で すぐに話し合いを行い事実究明を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約・解約する際は契約書に分かりやすく示し、かつ十分に説明し理解納得を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 管理者や職員へ表せる機会は個別に設けているが外部者を交えて話し合うのは家族が面会に来られた時は意見を聞き、それらを運営に反映させるように努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月に一度手紙や写真で暮らしぶりや健康状態を報告している。さらに常時ブログを公開している。又、変化が生じた場合はすぐに電話報告している。		
			(外部評価) 手紙や電話で、ご本人の様子等を細かく報告され、ご家族から感謝のことばをいただいている。		今後、運営推進会議で話し合われた内容についても、ご家族に報告することを計画されていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 御意見、ご要望を年2回程度郵送している。来所時には家族の声を届けてもらいやすい対応に心がけている。苦情があった場合はすみやかに対応策を検討し運営に反映させている。		家族ノートを作っていたが、誰も書いてくれず効果がなかった。
			(外部評価) アンケートや家族ノート等を作り、ご家族の要望を聞き取れるよう働きかけておられる。		さらに、今回いただいた家族アンケートの結果等をきっかけにされる等、ご家族からご意見をいただきやすいような働きかけの工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の定例会議以外にも食事会などを開き堅苦しくない場を設け、意見や提案を聞き反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状態により早出、遅出などを設けた勤務ローテーションを組んでいる。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) やむなく異動があった場合にはこまめに顔を見せ合う事で利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
			(外部評価) 職員が法人内のグループホームに異動となった場合には、時々、利用者に会いに来られている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修に積極的に参加できる機会を作り、その後ホーム内でも勉強会を開いている。		
			(外部評価) 2カ月に1回、ケアプラン研究会に職員が参加されている。最近では、口腔ケアの重要性について学び、事業所での支援に採り入れられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			ケアプラン研究会においてネットワーク作りをし相互に訪問し合ってサービスの質を向上させていく取り組みをしている。		地域包括が開催する会議やケアワーク勉強会などで交流をもち意見交換会をしている。
			(外部評価)		
			外部研修に積極的に取り組み、他事業所とともに学んでおられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			食事会やレクリエーションなどで親睦を深め個々の仕事の悩みや相談に応じなるべくストレスを軽減できるよう取り組んでいる。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			評価すべきことは常に評価を行いねぎらい感謝を言葉に表し向上心をもって働けるように努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			十分に本人の話を傾聴し本人の困っていることを不安な事求めていることを理解できるよう努めている。		センター方式ケアプランに基づきアセスメントを行い、その人の過去や現在においてその人の立場に立ったケアができるよう努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 十分に家族等と話し合い、困っていること不安なこと求めていることを理解できるよう努めている。		家族さんがホームに来られる時間が持てない時には、こちらからご自宅へ出向き十分な話し合いが出来るよう対応している。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族等がまず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた助言・相談を行い、対応に努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人が安心できるよう何度か面談をしたり、場合によってはデイサービスやお試しステイを取り入れ、徐々に雰囲気に馴染めるよう工夫している。 (外部評価) 入居前には、ご本人、ご家族を訪問し、健康状態や事業所での支援についてゆっくりとお話をされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 介護をする側、される側という観点をなるべく持たず一緒に過ごしながら時間を共有し合い支え合う関係作りに努めている。 (外部評価) 利用者に、事業所で使用する雑巾を縫ってもらったり、職員のすそ上げや繕いものをしていただくこともある。職員が悩みごとの相談に乗ってもらったこともある。		就業間もない職員には利用者個々の状況を見極めることから取り組み、一方的な介護にならないよう指導している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に家族と連絡を取り合い小さなことでも報告し一緒に本人を支えていく関係を築いている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人が家族と疎遠にならないよう電話でお話しをしたり行事、催しもの際には参加して頂けるようご案内している。		誕生日パーティーやお花見、近郊へのドライブなど。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の記憶に残っているものや現存しているものに関しては可能な限り関係が途切れないよう支援している。		行きつけの近所の美容院・図書館
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者間の関係は基本的には個々のペースに任せているが、孤立したりトラブルが生じた場合には職員が間に立って支え合えるよう努めている。		座席の位置を変えてみたりする。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約が終了しても、その後手紙や季節の挨拶状等で利用者や家族との関係を断ち切らない付き合いを大切にしている。		長期入院で退居された方には不定期ではあるが、お見舞いに行ったり家族さんへお見舞いの手紙などで付き合いをさせてもらっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			利用者一人一人の生活歴を把握し、本人と話したり相談しながらなるべく本人の理想に添うような生活ができるよう対応している。困難な場合は、本人、もしくは家族本位に検討している。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、職員は、利用者に寄り添い、お話を聞いておられる様子がうかがえた。食後のデザートをお好きな場所で食べられるよう、希望を聞いておられた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			一人一人の生活歴等、ケアプランファイルに挟んで誰でも見やすい所に置いている。いつでも開けてみる事が出来、職員も把握している。日常の会話の中にもケアのヒントになる事がないか対応している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			日々の状態等なるべく細かく日誌に記録し、朝・夕、スタッフ間で話し合い、一人一人の精神・身体状況を把握できるようにしている。何か変化があれば、早急に話し合い対応している。必要に応じて、個々の睡眠リズム表を作成している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		外出支援、地域での行事の把握など
			介護計画を作成する時は、一番望んでいる事は何か本人と相談し作っている。また、家族会を行い、情報や意見の交換も行い、それを記録に残している。必要があれば、近隣の方・友人からも情報を得て作成している。		
			(外部評価)		
			センター方式の書式を活用し、ご本人と相談しながら介護計画を作成されている。「ご本人が何を望んでおられるか」を考えながら職員で話し合っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画を作る時に、1～3か月程度で期間を決めており、家族会等でも話し合い、本人・家族にも伝えサインをもらっている。本人の状態の把握にも努め、こまめに見直しをしている。		
			(外部評価)		
			利用者個々の状態に応じて、1～3月カ月ごとに介護計画の見直しを行なっておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			毎日の状態をなるべく細かく日誌に記録し、血圧・排便等パソコンにも残している。記録は毎日スタッフが目を通し、変化があれば分かりやすいようにチェックし、ミーティングを開いたりして話し合っ、計画見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人・家族から要望があれば、外出・外泊も対応でき、送迎や、車イスの貸し出しもしている。		
			(外部評価)		
			事業所内でデイサービスやショートステイを受け入れておられる。又、理美容・通院時の同行や、図書館に本を借りに出かけられたり、コーラス教室へ通う方の送迎もされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議を通じて民生委員の方と連絡をとったり、回覧版で情報をもらったり意見交換をしたりしている。警察や消防の方も招いて運営推進会議を開いたり、利用者の方を交えて避難訓練を行ったりしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアマネや、同業者が集まる会議等に参加し、いろいろな情報を得ている。そのような所で親交を深め、なにかあれば相談し合える関係を作っている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターとは訪問し合ったり、なにかあれば相談できるような関係を作っているが、グループホームでは今までそのような例はない。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時に本人・家族の希望を聞き、希望のかかりつけ医があれば対応できる。また、ほぼ毎日往診に来てくれる医師もあり、なにかあればいつでも相談できる体制をとっている。 (外部評価) かかりつけ医は、ほぼ毎日往診に来られており、それ以外の専門医にかかる場合には、職員が同行し、情報を共有されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 利用者の状態を見ながら、家族とも相談した上で専門医に受診したり、相談できるような関係を作っている。受診後はすぐに家族に結果を報告し、経過も伝えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけ医院の看護師からは毎朝利用者の状況うかがいの電話がある。なにかあればいつでも相談できる関係を作ってる。		地域の看護職とは？
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院する時があれば、主治医から紹介状を書いてもらい、入院する病院にも入院した病院にも利用者の状態が分かる様連携をとっている。入院病院とホームの連携もとれており、情報交換や相談ができるよう努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化・終末期には、家族とも今後の移行について十分に話し合い、主治医からもアドバイスをしてもらおうよう対応している。出来るだけ早い段階から家族・主治医・管理者で話し合い、その意向を管理者からホーム職員に伝え、方針を共有している。 (外部評価) これまで、お二人の方についてご家族や医療機関と連携し、看取られた。状態に応じてその都度、話し合いをされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化・終末期には、利用者がよりよく暮らせるよう管理者を中心に全員で話し合い、利用者の状態を見極め方針を共有している。医療との連携もとれておりほぼ毎日利用者の状態を診てもらいなにかあればすぐ駆けつけてくれたり、指示をもらえるような関係をつくっている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者一人一人の好みや生活歴をスタッフ全員が把握し、住み替えがある場合も引越しの手伝いも行いなるべく馴染みの家具や飾りものを置くようにしている。他施設に移る場合もホームでの状態や好み等の情報を交換できるよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご利用者に対し、常に尊敬のまなざしで言葉かけや対 応を行っている。また、個人情報に関しては、厳重に 管理し取扱いについては十分な配慮を行っている。</p>		<p>個人情報の内容については、同意書を作成し対応して いる。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>ご利用者自ら出来ることを尊重する。(例えば、食事 のときの配膳、下膳など...)職員は、見守り、支援し ている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>時折職員は、時間的に余裕がない時は、業務を優先し てしまう。しかしながら、それ以外において可能な限 りご利用者一人一人のペースに合わせてながら支援す るよう努力している。</p>		<p>今後は、ご利用者を中心的に考え、その人に合わせた 生活ができるよう可能な限り支援していきたい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>昼食の時間まで居室で休まれている方や、昼食の支度 をされる方もうかがえた。昼食後は、外のベンチでく つろぐ方や室内でゆっくりされている方もおられ、思 い思いに過ごすことができるよう支援されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 日頃は、起床時に行くこともあるが、外出・外泊時等においては、よりおしゃれな身だしなみが出来るよう援助している。		馴染みの美容院に行かれている方もいる。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事については、出来るだけご利用者の希望に添うよう、メニューを考えている。ご利用者一人一人の出来る事と出来ない事を見分けながら、一緒に食事の準備や後片付けを行っている。 (外部評価) 食事のメニューは、利用者の希望を聞き取り、考えておられる。利用者と職員が協力して食事の準備、後片付けをされている様子がうかがえた。職員は、必要な時のみ介助することを心がけておられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在スタッフ、ご利用者とも喫煙者はおらず対応はしていない。おやつ、酒などに関しては、本人の希望により、体調を考慮しながら提供している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 日々のご利用者の状態を見て必要があればオムツなどを使用し、状態が良くなれば使用を減らし、気持ちよく排せつができるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			基本的には毎日入浴できるが、(最低週に3回行っている。)利用者の希望があった場合、希望に添うよう支援している。		ご利用者同士で入浴の順番を決めて楽しんでいる時もある。
			(外部評価)		
			事業所では、毎日お風呂を準備され、利用者の希望を聞きながら入浴を支援しておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			休息については、各々、自室に戻りベッドで静養している。またご利用者が疲れているような様子が見られる時は、職員がさりげなく声かけをして休息を取ってもらうよう支援をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			ご利用者の生活歴を把握した上で、今持っている力を発揮できるよう支援している。		楽しみ事や気晴らしにおいては居酒屋やカラオケへ出かけている。入所している方の中には、出稼ぎにきていると思っている人もいます。
			(外部評価)		
			居酒屋やカラオケに出かけられたり、あやとりや折り紙をされる方もいる。又、ペットの犬と遊ぶことを楽しみにされている方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			管理できるご利用者がいない為、お金は所持していない。		一緒に買い物に行きレジでのやり取りを楽しんでおられる方もいます。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			特に予定を決めるわけでもなく、日常的にドライブに行ったり、散歩や外出を楽しんでいる。		毎日、コンビニエンスストアでお菓子を買うのを習慣にしている方もいる。
			(外部評価)		
			毎日、外に出ることを支援されており、散歩が日課になっている方もおられ、又、ドライブ等も楽しまれている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			個別に出かける機会は家族や知人に協力してもらい、なるべく満足にしてもらえるよう支援している。		墓参りや生家の訪問等
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			ご利用者の希望があれば、随時利用して頂き、職員もご本人がスムーズに通信できるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族様来所時自室で談話したりする。面会を行うごとに「家族会」に記録したりしている。またご本人様もしくは家族様が希望していれば外泊も実施している。		友人や知人が来所されている。談話室の狭さが感じられる時があるが、なるべく居心地のいい空間作りに努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、それに伴うリスクもある為家族さんとよく話し合い納得・同意を得たうえでケアに取り組んでいる。		やむを得ない場合の拘束をする場合でも、そのリスクを考え正しい知識を身につけていきたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 昼間、玄関へ鍵をかけることなくいつでも利用者さんが表へ出る環境作りが出来ている。		
			(外部評価) 調査訪問時、玄関を開放されており、利用者が自由に出入りし、外のベンチでくつろいでおられる様子がうかがえた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ホーム自体が狭いので目は行き届いてる。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険な物は大体職員側で保管していて使用するときには声をかけてもらっている。居室で使う場合でも、使用後は職員に返してもらうようにしている。		利用者本人が物品を持っている場合は、職員がそれを把握し個々の必要な物を無理に取り上げることのないようにしていきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故のおこりうる事は状態に応じて防ぐことは出来ているが、突発的な事故においては早急な対応ができるよう心がけている。		個々の状態を常日頃気をつけてみている。考えられる事故等も話し合いを通じて防いでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアル等は作って口頭説明をしているが、その場になってみないとという意識があり定期的には行えていない。		他事業所と連携し救命救急の訓練をしている。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に数回消防署員を招いての訓練やアドバイスを受けている。近所の人々の協力をもらえるよう働きかけている。 (外部評価) 年数回、消防訓練を行っておられる。消防署の方から避難方法についてのアドバイスをいただいた。		近所の人との交流を増やし顔を知ってもらったりして緊急の時に手助けしてもらえるように関わっていく。 運営推進会議時に消防署の協力を得て、地域の方の参加もいただき、避難訓練を行うことを予定されていた。防火対策や避難訓練について、ご家族や地域の方達にも伝えていくような取り組みも期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 出来る限り自由に動いてもらえるよう抑圧しないようにはしているが、危険性のあることがあればその都度、家族さんに説明できている。		リスクのあることについては、職員の間で話し合い家族へ説明するという連携を引き続き行いたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 変化があると職員同士に報告し判断に難しいと思う事は管理者へ報告し指示を仰ぐようにしている。		既往歴などが把握できてない職員がいたりする為、把握し普段の体調の変化は過去にあったものかなど変化に迅速に気付くようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 使用している薬の説明書等ファイルにとじ、いつでも目を通せるようにしている。		お薬の整理時、誰がどのような薬を服用しているのか説明書で確認していきたい。服薬が変更された場合いには申し送りにて徹底するよう努めている。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事の時に食物繊維のあるものを食べてもらったり牛乳を飲んでもらっている。なるべく2～3日あけないようにしている。腹部マッサージ等		食事の工夫や個々の利用者に向けた便秘予防の知識を身につけていきたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 自立でできる人に対しては声かけ等で出来ている。介助の必要な人に対しては少しおろそかになっている。		介助の人でもうがいの出来る人には行えるよう誘導している。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分や汁物を取りにくくむせこむ人にはトロミをつけて飲みやすくしたりコーヒー等好きな物、炊き込むなら多めの水分で炊くなどの工夫をし水分摂取に気を付けている。 (外部評価) いろいろな食材を使用し、食事作りをされている。テーブルには常時、お茶の入ったやかんが用意され、利用者ごとにペットボトルを持って水分摂取に努めておられる。		これから暑くなる季節に向けて、水分摂取にはさらに工夫しながら本人にも無理なく摂ってもらえるよう取り組む。3度の食事には必ず汁物をつけている。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作り予防に努めている。感染症の勉強会に行き知識を高めている。		汚物を触る時の手袋着用、その後の手洗い・手指消毒の徹底に気を付けていく。外出後のうがい等。食事に関しては必ず火を通す。生モノは出さない。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理のときには必ず火の通したものを使用している。まな板、包丁等日光消毒している。保健所の方を交えて食品管理の研修を受けている。		期限の近い物は日付けを大きくわかるように記入して切れたものを使用することのないように気をつける。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) お花を置いたりベンチを置いたり表へ座れる場所を設けている。近所の方が立ち止まって利用者さんとお話しされることもある。		ゴミ箱の置き場を変えてみる等少しでも玄関周りが開放的になる様工夫していきたい。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花を飾ったりしている。明かりも明るすぎではない。 (外部評価) 民家改修型の事業所で、一般家庭のような雰囲気となっている。共用空間には、季節の花や写真を飾っておられた。		談話室だけでなく玄関や廊下にも季節感のあるものを取り入れていくようにする。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 気の合った利用者さん同士はソファで語り合ったりしているが、手狭なため一人になりたいときは自室に帰っている。		テーブルの位置を変えたりソファの位置を変えたりしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅で使っていたものや好きな物を置いている。		位牌を飾ったりご両親の写真を飾っている。
			(外部評価)		
			居室は、タンスや机が持ち込まれ、写真やぬいぐるみ、手作りのカレンダーなどで飾られておられた。テレビや扇風機を置いておられる方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			お天気の良い日には各居室に新鮮な空気が入るようにしている。		談話室に温度計を設置し、今後も季節・気温に気をつけ取り組んでいく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			出来るだけ自由に動いてもらえるよう危険だと思われるものはのけている。通りの妨げになるものは片付けている。		立ち上がり困難のところには手すりをつけている。自由に動いてもらう事で必要な部分を探し工夫していく。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			戸惑っている事には手助けをし、わからないことにはわかるように説明をし混乱のないようにしている。		場所の把握がわかるよう表示したり自尊心を傷つけることなく支援し声かけし対応していく。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダで洗濯物干しをするときでも手の届くよう低い位置に掛け棒を置いている。表に犬をつなげている。表にベンチを置いている。		玄関先にほうき、ちりとりを置いている。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員の入れ替わりや入居者の入れ替わりもあり、完全にはつかめてはいない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日々の生活の中で、日光浴、散歩、遊びを通して、利用者のニーズに合わせて行っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	昼寝、食事など利用者に合わせてるので時間が定まっていない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の生活の中、会話、また遊びを通して感じられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	極力、散歩、ドライブなど、利用者の気分転換を図っている、
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の往診、また、必要に応じた定期受診、通院など行っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者が、スタッフに対して心を開いてくれると思える。また、利用者によっては、個々にコミュニケーションを図るケースもある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	常時家族と連絡し、それぞれの事柄に耳を傾け、信頼関係に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	系列のホームの利用者、スタッフ、近所の方が来られている。

